

グループホームかりん 令和7年度第2回運営推進会議 報告書

開催日	令和7年6月20日(金) 13:30~14:30		
開催場所	グループホームかりん		
出席者	構成区分	人数	構成区分
	地域住民の代表(公民館長)	1名	地域包括支援センター
	行政(市長寿社会課)	1名	ご利用者の家族
事業所	地域住民の代表(民生委員)	1名	
	施設長 1名		グループホーム職員 1名
	グループホーム管理者 1名		
欠席者			

1. 利用状況報告について

R.7/5/31 現在

入居者の 状況	入居人数(18名) 男性(3名) 女性(15名)
	要介護1(6名) 要介護2(5名) 要介護3(5名)
	要介護4(1名) 要介護5(1名) 平均要介護度(2.3)
	年齢(平均84.4歳)(最若68歳)(最高99歳)

さくらの家～ 要介護1(2名) 要介護2(2名) 要介護3(3名) 要介護4(1名)
 要介護5(1名) 平均要介護度(2.7)
 もくれんの家～要介護1(3名) 要介護2(3名) 要介護3(3名) 要介護4(0名)
 要介護5(0名) 平均要介護度(2.0)

- ・4月・5月 5/9 S様 S施設に入所の為、かりん退所
 5/9 T様 かりん入所(S施設ショートステイ利用)
- ・ショートステイ 4月・5月 ご利用なし
- ・外泊者 なし
- ・ご家族と外食外出 4/6 N様外出、外食

◇病院連携

S病院精神科医往診日：4月2回、5月2回
 F病院内科医往診日：4月、5月
 医療連携カンファレンス web会議：4月、5月
 K歯科往診 ⇒歯科衛生士の定期訪問 N様

[通院介助状況]

4月 Oクリニック1 S病院1
 コロナ感染利用者5名(さくらフロア)、職員1名、職員体調不良者2名
 5月 Oクリニック1 N病院1

2. 活動報告(R7.4/1～R7.5/31)

月日	内容	状況
4月30日	栄養士実演によるおやつ作り教室	両ユニットご利用者
5月13日	中庭に花植え、かりん農園に夏野菜を植える	両ユニットご利用者
5月18日	春の総事参加(地区行事)	両ユニットより1名ずつ
誕生者	4月2名、5月4名	両ユニットご利用者
随時開催	味噌汁作り、おやつ作り、かりん農園の整備、ドライブなど	各ユニット毎に開催
定期開催	こども食堂(4月は中止、5/31開催)	
毎月2回	書道クラブ、	
毎月1回	ゴスペルコーラス	
5月2日	散髪(1～2か月に1回)	

3.研修等(職員)の状況(R7.4/1～R7.5/31)

月日	内容	備考
4・5月	栄養改善研修	全職員対象
4月	感染症対応にて研修延期	
5月	急変時の対応について 火災図上訓練 リスクマネジメント研修 緊急時対応研修	

4.ヒヤリハット報告について

(1) ヒヤリハット(4月:8件、5月:9件)

※ヒヤリハットは事故が起こる前に気付いたこと、起こっても利用者には変化がなかった場合の事

	転倒 転落	表皮剥離	異食	喉詰め 誤嚥	離所	誤薬	情報共有 ミス	その他	医療 健康	利用者 トラブル
4月	5 0	0	0	0	1	1	0	1	0	0
5月	4 0	0	1	0	0	0	0 1	3	0	0

(2) 事故(4月:0件、5月:1件)

※医療機関での継続的治療が必要な場合および倉吉市に報告をした事故

	転倒 転落	表皮剥離	異食	喉詰め 誤嚥	離所	誤薬	情報共有 ミス	その他	医療 健康	利用者 トラブル
4月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5月	1 0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

5. 是正予防処置報告

4月誤薬発生。感染症対応中で、いつも通りの対応ができていなかった。全職員、手順書の読み合わせする。

6. 施設見学・意見交換

・施設長…事故の補足として事故ヒヤリハットのレベルや事故を防ぐ仕組みについての説明。今回の事故はコロナ禍での発生。いつもと違う環境下で発生してしまった。普段と異なる環境下で事故防止が今後の課題。

コロナの症状は以前に比べて軽くなったがうつりやすい。家族との距離感を大切に面会は基本制限していない。ただ、注意報警報が出た時には控えて頂く様にしている。

開設からこれまで地域とのつながりを沢山持たせていただいた。今後も引き続き持たせて頂けたらと思う。

・地域包括支援センター様…骨折後の受診対応はあったのか？

(施設職員)経過は良好なため、再受診の予定はなし。コロナ後で身体的な変化がある中、散歩後の対応を注意する必要があった。

地域包括支援センター様…薬の管理の方法について、セットというのは毎月行っているのか？

(施設職員)毎日準備して容器にセットしている。

地域包括支援センター様…誤薬のヒヤリは他施設でもある。普段と違う環境下での事故は発生しやすい。

(施設職員)違う環境下であるからこそ、薬に関してはいつもと同じ対応の継続が大切。

地域包括支援センター様…施設見学を通してきれいだと感じた。

・家族代表様…施設見学を通してアットホームな感じで良いと思った。

コロナの感染経路はどこだったのか。

(施設職員)感染経路は今回不明であった。最初に症状が出た方は明らかなコロナの症状ではなく足の痛みの訴えであった。受診して陽性と判明した。認知症がある為、症状が正確に伝えられない。正確な日々の観察が大切だと感じた。

・地域代表(公民館長)様…見学を通してきれいにされていると感じた。ご利用者ともよくコミュニケーションを取られていると思った。町内の行事に参加して頂いて感謝している。今後出来る事は協力させて頂くので教えてもらえたと思う。

・行政(市長寿社会課)様…窮屈さがあまり感じられず開放的でよい。綺麗。壁にも季節感のある飾りがしてあってよかったです。

待機者について：いちばん長く待っておられる方はどのくらいか？またかりん単独の申し込みはあるのか？

(施設職員)2~3年。まだ在宅をすると言われている方もおられる。その方々とも定期的なやりとりをしている。かりん単独の申し込みは少ない。複数の施設に申し込みを行っている方が多い。お泊りデイ利用中の方も待機しておられる。待機者には保留者と待機者が含まれる。緊急性のある方は相談員同士で連携をとっている。もしそういった方がおられた際にはご相談いただけたらと思う。

- ・地域代表(民生委員)様…施設について倉吉市は待機者に対して施設数は足りているのか。
(施設職員)担い手不足は懸念される。サービスは多様化していて、入所しながらデイにも通える施設もある。事業所によっては介護度で入れない場所もある。費用面で入れないケースもある。
- 地域代表(民生委員)様…ヒヤリハットの取り組みについて、これまで大きな事故はあるのか。
(施設職員)これまで自施設で発生した事故は、死亡には至ってはいないが骨折事故での入院はあった。大きな事故を発生させない取り組みをしている。取り組みをしていても事故は発生する。何度も繰り返し事故を防ぐ事に取り組んでいく事が大切。事故発生ゼロは難しい。
- 地域代表(民生委員)様…誤薬は大きな事故にならないのではないか。
(施設職員)今回は大丈夫であったが薬によっては大変な事態になる場合もある。誤薬があった時は医師との連携が大切。新人等職員の技量等が標準化できればと思う。4、5月は人の異動もありリスクが増す。事故ヒヤリの仕組みを活用して気をつけていこうと思う。

6.その他

- ・次回、こども食堂：6/28(土)11：30～
- ・6月 地区運動会参加

次回開催：令和7年8月22日(金) 13：30～14：30